

伝教大師 最澄

大久保良峻「著」(早稲田大学教授)

四六判・上製・三〇六頁・本体二、五〇〇円＋税



日本仏教の揺籃期にその礎を固めた最澄。その生涯や思想、徳一との論争や諸著作、そして没後に活躍した主要人物について、原典を取り上げてバランスよく紹介する。没後1200年を記念する、新知見を示した本格的な人物伝。

〔目次〕

はしがき

序章 天台宗と最澄

鑑真から最澄へ
最澄の相承
密教の展開
法相宗との論争
大乘戒独立
日本天台宗の重要性

第三章 入唐と帰朝

入唐求法を志す
唐土へ
陸淳と道邃
行滿との邂逅と天台山
台州を去る
越州での密教受法
雑密の伝承と帰朝
帰朝復命と伝法
天台宗独立
天台宗の年分度者

第六章 大乘戒独立

天台法華宗年分学生式(六条式)
勸奨天台宗年分学生式(八条式)
天台法華宗年分度者
回小向大式(四条式)
『顕戒論』奉呈
〈コラム6〉最澄の言葉

第一章 生誕から青年への成長

最澄の出自
誕生から成長へ
〈コラム1〉天台密教

第四章 最澄と空海

空海の帰国と交流
空海との決別へ
泰範の去就
〈コラム4〉最澄の諸国歴訪

第七章 最澄の功績と日本天台宗

勅許と最澄の入寂
最澄の著作と思想
日本天台宗の後継者——最澄没後の代表的な人物たち——
日本仏教の母胎
〈コラム7〉光定と円澄

第五章 最澄と徳一

三一権実論争の始まり
徳一と最澄の著作

最澄略年譜

参考文献
あとがき

第二章 比叡山入山

願文——青年最澄の願い——
天台文献と一切経論を求める
法華十講
高雄山寺での天台講演
〈コラム2〉四教と行位

【著者略歴】一九五四年神奈川県に生まれる。一九七八年早稲田大学第一文学部(心理学専修)卒業。一九八三年早稲田大学大学院文学研究科修士課程(東洋哲学専攻)修了。一九八九年同博士課程退学。二〇〇二年博士(文学)早稲田大学。現在、早稲田大学文学部(文学部)教授。天台宗勸学。著作『天台教学と本覚思想』、『台密教学の研究』、『最澄の思想と天台密教』。編著『新・八宗綱要』、『天台学探尋』(以上、法藏館)、『山家の大師 最澄』(吉川弘文館)、『日本仏教の展開』(春秋社)など。

注文書		様冊	
(書店名)		ご担当	
大久保良峻 著		法藏館	
伝教大師 最澄		二、五〇〇円＋税	
ISBN978-4-8318-7744-4 C0023		ご注文先	
お名前		お電話	
住所		お名前	

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・伝記